

男女共同参画都市宣言関連事業

男女共同参画都市宣言記念講演会

令和5年度は、男女共同参画都市宣言を記念する講演会を9月に開催しました。

- ◆日時：9月30日（土）
13：30～15：30
- ◆会場：福津市役所別館1階大ホール
- ◆参加者：40名
- ◆演題：「自分らしさを始めよう！」
- ◆講師：須藤 美香さん
合同会社Caravan CWO
(Chief Well-being Officer)・執筆家

男女共同参画都市宣言記念講演会を9月30日に行いました。講師は、執筆家などとして活動する須藤美香さんです、須藤さんは「わたしらしく生きるために必要な3つのスキル」をテーマに講演をしました。

1つ目のスキルは「自分を知る」ということ。まずは自分の好き嫌いや得意不得意を知り自覚する事が大切です。

2つ目のスキルは「自分の心の声を聞き、その声に寄り添うこと」。人に合わせ過ぎて自分の好きなことが分からなくなっている人が多いので「本当はどうしたいの」と自分に聞く習慣をつける事が大切です。

3つ目のスキルは「『NO』と言えるようになること」。「私たちは『NO』と言う練習が圧倒的に足りていない。もし、あなたが『NO』と言ったときに、それを「わがまま」だと言ってくる人がいるとしたら、あなたがその人の都合のいいように動いてくれないから不満を言って

るだけ。人に『NO』と言うことは自分に『YES』ということ。『NO』と言うのはとても難しいけれど練習を重ねればできるようになるので自分の意思を尊重してほしい」と話していました。

須藤さんは「モヤモヤした気持ちは希望の種」と言います。モヤモヤは本当の気持ちに気付けたということ。決して悪いことではない。ぜひ、3つのスキルを日常に持ち帰って生活を送ってほしいと締めくくっていました。



「男女がともに歩む」一行詩 優秀作品

小・中・高校生の「男女がともに歩む」
一行詩優秀作品の表彰を、12月9日（土）
の人権講演会の冒頭に行いました。
（※学校名・学年は令和5年度現在）

【小学生の部】

● ^{みね} ^{あやね}
三根 彩音（勝浦小学校5年）
私はサッカー ぼくはピアノ
どんな夢を追いかけてもいい

● ^{いきつ} ^{あやな}
生津 彩愛さん（上西郷小学校5年）
大切なのは男女関係なく
みんなが幸せになること

● ^{いしがみ} ^{ゆうな}
石神 悠凧さん（神興小学校4年）
すきなものは人それぞれ
男女かんけいなんかないよ
こせいがあっていいんだよ

● ^{かねこ} ^{たくみ}
金子 巧さん（神興東小学校6年）
「みんな違って みんないい」
自分自身の個性をもとう

● ^{みやざき} ^{てんしょう}
宮崎 天翔さん（津屋崎小学校5年）
戦争とともになくしていこう。男女差別

● ^{なかだ} ^{ゆづき}
中田 結月さん（福間小学校4年）
だいじょうぶ すきもこせいも
自分らしく

● ^{むらかみ} ^{まゆ}
村上 真優さん（福間南小学校5年）
教室に いろんな色の ランドセル

【中学生の部】

● ^{つむら} ^{ゆい}
津村 優衣さん（津屋崎中学校3年）
性別なんかにとらわれない、夢を奪う差別
をなくそう

● ^{しゅとう} ^{かほ}
首藤 夏帆さん（津屋崎中学校3年）
男、女 そんなもので” 区別せず”
一人ひとりとしてみてほしい

● ^{みぞぐち} ^{あやね}
溝口 綾音さん（福間中学校3年）
初めて作ったたまご焼き
教えてくれたのはなんでも作れる自慢の父

● ^{ゆあさ} ^{そら}
湯浅 美虹さん（福間中学校3年）
味見してみて、何これうまっ！
お母さんが作ったの？ いいや、僕だよ。

● ^{かわぐち} ^{こうへい}
河口 昂平さん（福間東中学校3年）
僕らしく？ 私らしく？ いいや自分らしく！

● ^{おおむら} ^{さよ}
大村 咲葉さん（福間東中学校2年）
認め合い、支え合い、全員の「自分らしさ」
が輝くように

【高校生の部】

● ^{かわの} ^{せい}
河野 青生さん（光陵高校2年）
子どもを育てること
片方だけの仕事ではない

● ^{まえはら} ^{ゆい}
前原 結衣さん（光陵高校2年）
育児は母ではなく
母も夫も関係ない

● ^{にしづ}
西津 ここあさん（光陵高校1年）
隠さず魅せよう自分の個性

● ^{こいで} ^{かいり}
小井手 海璃さん（水産高校1年）
現代は みんなの色が 違う色

● ^{やまね}
山根 わこさん（水産高校1年）
人生は 自分らしさを 求めよう。

● ^{さかい} ^{たいき}
酒井 大輝さん（水産高校1年）
生まれもつ個性の色をだして行こう

「男女がともに歩むまちづくり」 推進モデル

家庭、地域、職場、学校などで「男女がともに歩むまちづくり」を積極的に進めている市民や団体、事業者などを「推進モデル」として推奨しています。

推奨式を、12月9日（土）の人権講演会の冒頭に行いました。

◆漆谷 慎一さん

《推奨理由》

若い頃、家事を殆どしていなかった漆谷さん。現在 65 歳で 30 歳頃から夕食作りを始めましたが、当時は「男が食事を作るのはすごいだろ」という意識で作っていました。宗像市男女共同参画委員や男性料理教室の講師を経験。その後、福岡市の男女共同参画を考える会「ペンタグラム」に参加し、フリーペーパーに「はんどめいど父子手帳」という子育てについての記事を連載していました。これらの活動の中で漆谷さんの意識が変化していったそうです。現在は NPO 法人「メッタークラブ」に所属して地域のつながりや子どもたちの居場所作り、また、ひとり親のサポートとして学習ボランティアをされています。日々、「女性も男性もハッピーに」をモットーに困っている人がいないか目配りをして小さな親切を実践中です。市の男女共同参画の活動モデルケースとして、今後も期待されるため、今年度の男女がともに歩むまちづくり推進モデルに推奨しました。

